

## 34 学校へのサポート事例 ～GTEC通信～

### 全国の高等学校・中学校・自治体の英語教育に関する先進的な取り組み事例 ～2003年度から12年間の82事例～

※2014年11月現在

W107	英語教育における英語指導の充実と「スピーキング」の強化に関する取り組み	W108	英力士会館以上の存在と、到達目標の明確化
W108	工業高校の生徒の英語に合わせた「英語教育」としての英語指導	W109	入試のみで終わらせない、進学校の英語授業改革
W109	教材が一歩と進んだ中高一貫校の取り組み～土曜日に英語の授業と夜校授業～	W110	「正解を目指す」授業からの脱却
W110	英語力の伸びていない生徒をどうするか～eラーニング活用と毎日授業の導入～	W111	「話す」が目標になる
W111	これからの英語教育をどうするか～AP/IBの活用と「英語力」の育成～	W112	2009年度からの英語力向上校「100日」英語力養成校
W112	「英語力」を伸ばすための授業改善と指導	W113	様々な英語の活用
W113	「英語力」を伸ばすための授業改善と指導	W114	GTECの活用と英語指導の充実
W114	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W115	進路決定支援
W115	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W116	生徒の英語力向上のための取り組み
W116	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W117	英語力向上のための取り組み
W117	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W118	「自分の力で英語」を育てる授業
W118	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W119	「自分の力で英語」を育てる授業
W119	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W120	英語力向上のための取り組み
W120	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W121	英語力向上のための取り組み
W121	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W122	英語力向上のための取り組み
W122	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W123	英語力向上のための取り組み
W123	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W124	英語力向上のための取り組み
W124	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W125	英語力向上のための取り組み
W125	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W126	英語力向上のための取り組み
W126	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W127	英語力向上のための取り組み
W127	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W128	英語力向上のための取り組み
W128	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W129	英語力向上のための取り組み
W129	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W130	英語力向上のための取り組み
W130	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W131	英語力向上のための取り組み
W131	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W132	英語力向上のための取り組み
W132	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W133	英語力向上のための取り組み
W133	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W134	英語力向上のための取り組み
W134	英語力向上のための取り組み～授業と学習の両面から～	W135	英語力向上のための取り組み

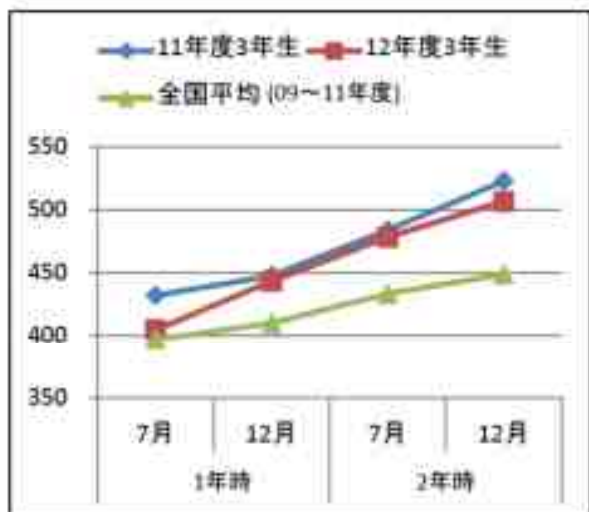
(後略)  
参照：GTECサイト内 <http://gtec.for-students.jp/gtecmag/gtecmag.htm>

## 35 学校へのサポート事例 ～中学・高等学校～ <GTEC通信vol.80>

### 地域が一体となった中高連携の取り組み ～七尾市における英語力把握と指導改善～

#### 高校3年間だけでなく、中高6年間で英語力を伸ばす取り組み

七尾高校におけるGTECスコア推移



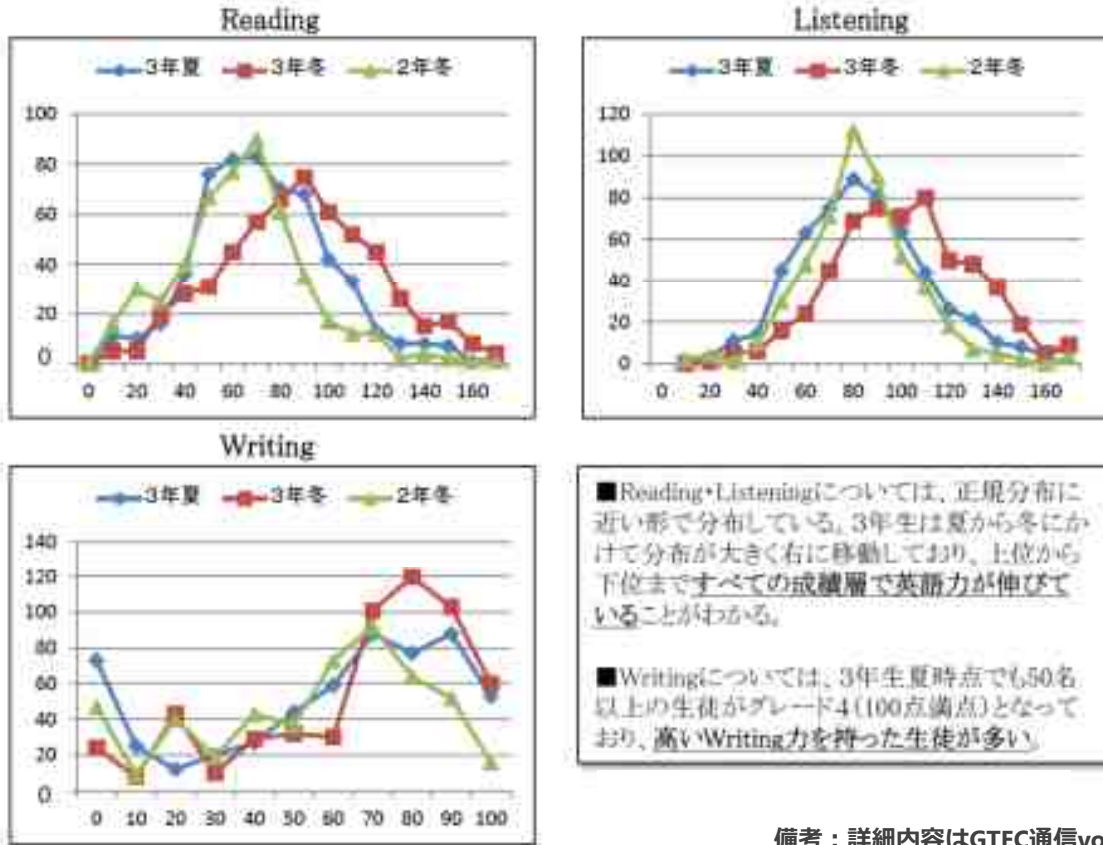
左図の通り、七尾高校においては、全国平均と比較しても例年大きなGTECスコアの伸びを記録しており、英語力を安定的に伸ばしている。

しかし、国語や数学などの他教科に比べると、入学時の英語の学力は相対的に低いと考えられている。このことから、中高が密に連携することにより、中高6年間トータルで英語力を伸ばしていこうと、七尾高校と七尾市内の小中学校の管理職教員と、七尾市教育委員会が中心となり、今回の取り組みがスタートした。

その内容は、まず同じ物差しで英語力の現状を把握し、同時に小中学生の学習意識・学習習慣をチェックすることから、指導のあり方を建設的に見直していこうというものである。

備考：詳細内容はGTEC通信vol.80を参照

七尾市立中学校全体における GTEC for STUDENTS の結果概要



富山県・高岡高等学校における英語指導の変革と  
スーパーグローバルハイスクールの取り組み

活動に合わせ、Speakingテスト・Writingテストの機会も増やす指導

**タブレット** CAN-DOリストの策定に合わせて、指導・評価をどのように変えてこられたのでしょうか。

**授業担当** 拠点校として取り組みを進める中で、特にWritingやSpeakingの活動を授業の中では多く取り入れるようになりました。これに伴って、当然ながらWritingテストやSpeakingテストといった評価の機会も増やしていくことになりました。1年生であれば、Writingテストは年間10回、Speakingテストは年間3回と、評価の機会を増やし、指導と評価の一体化を意識してやってきました。

(中略)

**ベネッセ** 外部試験の活用についても教えてください。

**指導先生** 英語を使う活動や、評価の機会を校内でも増やしていますので、実際にその取り組みを通して英語力がついたかどうかを客観的に測定するために外部試験としてGTEC for STUDENTSを活用しています。Writingを含めた3技能が測定できるため1~3年生で計5回受験をしていますし、Speakingについてもタブレットで一斉に行うことができるということで、今年度から1・2年生で導入することになりました。GTECで測定した結果、事業初年度の学年(現3年生)に比べても、事業2年目の学年(現2年生)の方が、1年次のスコアの伸びが大きいので、この事業で取り組んできたことが少しずつ積み上がって成果として表れていると思っています。

「これからの英語教育を考える会」  
 ~CAN-DO型到達目標（広島モデル版）を軸にした英語指導法~

中四国地方の高等学校の先生 約150名が参加の研究会



(資料3) 広島モデル版 CAN-DO型到達目標作成のポイント

<ポイント①> 検証し  
 やすいように、到達目  
 標には数値を入れる

<ポイント②> 到達目  
 標から生徒の状況を  
 「力」別に具体的に表記

<ポイント③> 上段に  
 授業中の活動内容・下  
 段に使用教材を明記

<ポイント④> 「授業  
 中」「考査等」「その他  
 外部指標」に分けて評  
 価方法を設定

学年/時期	到達目標	生徒の状況(ちから)	指導内容(上段)・使用教材(下段)	評価の方法
1年	1. 教科書レベルの英文を基礎知識(単語・フレーズ)と100WPMで理解できる。 2. 教科書レベルの英文を120WPMで理解できる。 3. 教科書レベルの英文を聴解し、適切な単語を挿入することができる。	1. 聴解力: 基礎知識(1000程度の基礎知識の90%以上)と、単語・フレーズ(1000程度)を覚えることができる。 2. 英文力: モンター-1000程度の単語を90%以上、覚えることができる。 3. 内容理解力: 教科書レベルの英文を読み、未知語や慣用語(単語・文脈から推測)を理解することができる。 4. 読解力: 400程度の基礎知識(単語・フレーズ)と100程度の英文力(単語・フレーズ)と1000程度の基礎知識(単語・フレーズ)を覚えることができる。 5. 内容理解力: 教科書レベルの英文を読み、文脈内で英文内の単語・フレーズを具体的に説明することができる。 6. 読解力: 教科書レベルの英文を読み、文脈内で英文内の単語・フレーズを具体的に説明することができる。	授業(教科書・辞書指導) 文法(体系的整理・活用) 読解指導 聴解指導 1. 単語・フレーズ(単語・フレーズ)の指導 2. 単語・フレーズ(単語・フレーズ)の指導	授業中 考査等 ベンチマーク評価 グループによる評価 外部指標による評価 授業中 考査等 ベンチマーク評価 グループによる評価 外部指標による評価
2年		1. 聴解力: 基礎知識(1000程度の基礎知識の90%以上)と、単語・フレーズ(1000程度)を覚えることができる。 2. 英文力: モンター-1000程度の単語を90%以上、覚えることができる。 3. 内容理解力: 教科書レベルの英文を読み、未知語や慣用語(単語・文脈から推測)を理解することができる。 4. 読解力: 400程度の基礎知識(単語・フレーズ)と100程度の英文力(単語・フレーズ)と1000程度の基礎知識(単語・フレーズ)を覚えることができる。 5. 内容理解力: 教科書レベルの英文を読み、文脈内で英文内の単語・フレーズを具体的に説明することができる。 6. 読解力: 教科書レベルの英文を読み、文脈内で英文内の単語・フレーズを具体的に説明することができる。	授業(教科書・辞書指導) 文法(体系的整理・活用) 読解指導 聴解指導 1. 単語・フレーズ(単語・フレーズ)の指導 2. 単語・フレーズ(単語・フレーズ)の指導	授業中 考査等 ベンチマーク評価 グループによる評価 外部指標による評価
3年		1. 聴解力: 基礎知識(1000程度の基礎知識の90%以上)と、単語・フレーズ(1000程度)を覚えることができる。 2. 英文力: モンター-1000程度の単語を90%以上、覚えることができる。 3. 内容理解力: 教科書レベルの英文を読み、未知語や慣用語(単語・文脈から推測)を理解することができる。 4. 読解力: 400程度の基礎知識(単語・フレーズ)と100程度の英文力(単語・フレーズ)と1000程度の基礎知識(単語・フレーズ)を覚えることができる。 5. 内容理解力: 教科書レベルの英文を読み、文脈内で英文内の単語・フレーズを具体的に説明することができる。 6. 読解力: 教科書レベルの英文を読み、文脈内で英文内の単語・フレーズを具体的に説明することができる。	授業(教科書・辞書指導) 文法(体系的整理・活用) 読解指導 聴解指導 1. 単語・フレーズ(単語・フレーズ)の指導 2. 単語・フレーズ(単語・フレーズ)の指導	授業中 考査等 ベンチマーク評価 グループによる評価 外部指標による評価

到達目標から  
 指導を考える

備考：詳細内容はGTEC通信vol.76を参照

高校生に適切な問題内容とレベル、  
 適正・公正な実施運営体制に加え、  
 現状も全都道府県で実施されている会場の数を更に増やすこと、  
 そして同時に受験回数も増やしていくことによって、  
 より「受験しやすい」公平性の高いテストを目指していきます。



# ケンブリッジ英検 Cambridge English

ケンブリッジ大学英語検定機構  
日本支部長 青山 智恵

1



## ケンブリッジ英検の特徴

- 生涯にわたって英語を学習する視点で作られた試験。生徒の進路や目的に応じてレベルを選択できる利点
- 英語運用能力の向上を支援するという、教育的な目的をもって設計されている試験
- 全ての試験で4技能を測定  
スピーキングは受験者**2名のペア**で受ける**対面式テスト**
- 高い国際通用性－世界基準の**ヨーロッパ共通参照枠(CEFR)に準拠**
- 生涯有効の国際資格
- **学習指導要領との親和性**がある  
キー(KET: A2レベル)はもともと**日本の高校生を対象**に1988年に作られた**日本生まれのテスト**

2



# 生涯にわたり英語学習をサポート

## 資料1: ケンブリッジ英検と英語教授法認定資格

**英語運用能力テスト:**  
 児童英検、中高生対象英検、成人学習者対象英検、  
 ビジネスパーソン対象の英語テスト、  
 留学・移住目的のためのテスト など



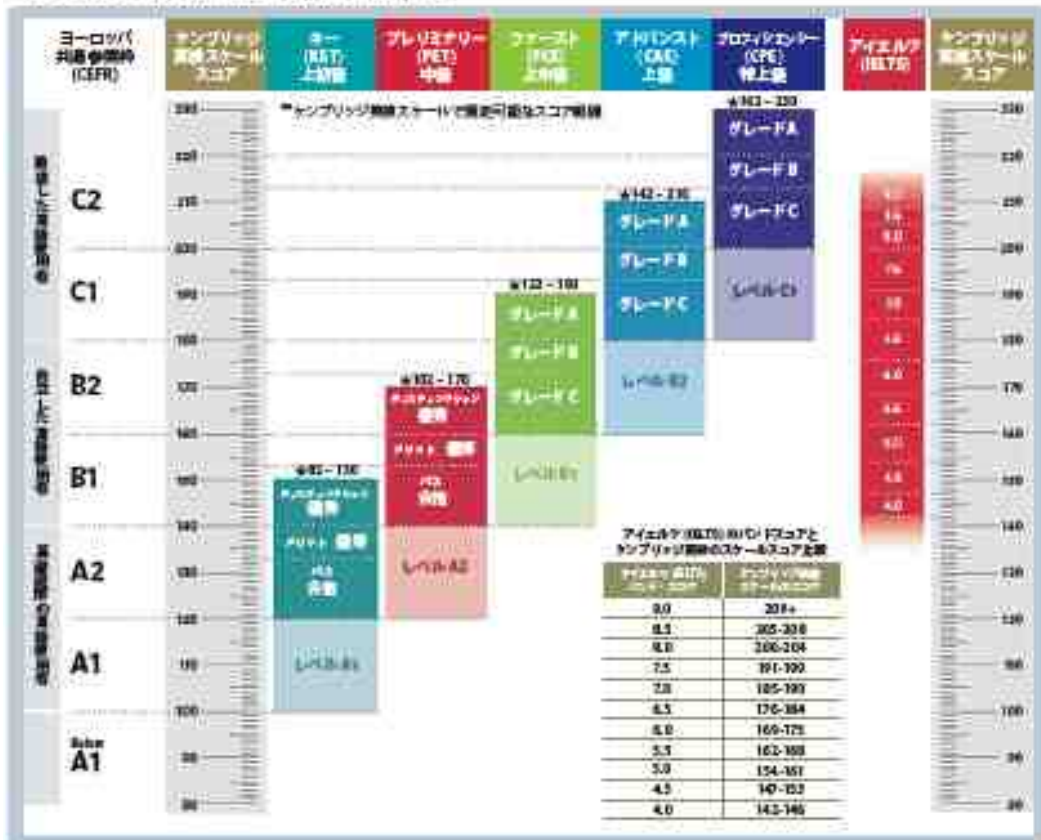
3



## 1) 試験の目的・内容・出題意図の概要

ケンブリッジ英検スケールと各試験のスコア比較表

資料2: ケンブリッジ英検とスケールスコアについて



4





# 進路・目的に応じて受験レベルを選択

First (B2) ファースト	Advanced (C1) アドバンスト	Proficiency (C2) プロフィシエンシー
<ul style="list-style-type: none"> <li>海外の高等教育機関のファウンデーションコース入学レベル</li> <li>英語を使う職場で働けるレベル</li> <li>グレードAで合格の場合C1と同等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外進学(学部、大学院)・就職</li> <li>世界で4,000機関以上が認定、活用。</li> <li>グレードAで合格の場合C2と同等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外進学(学部、大学院)・就職</li> <li>あらゆる種類の英語に対処できるマスターレベルの英語力</li> </ul>



## IELTS対策にも役立つケンブリッジ英検

- 12歳から17歳まで約6年間ケンブリッジ国際児童英検、KET、PET、FCE、CAEの勉強と受験
- 他の英語テストの受験経験無し
- 小・中・高校2年生の春までは神戸市内の私立学校に席を置いていたが、2年生の夏に公益社団法人 [ユナイテッド・ワールド・カレッジ\(UWC\)の奨学生](#)に選ばれインドマヒンドラカレッジに留学。現在はアメリカコネチカット州にあるWesleyan Universityに在籍中。
- UWC奨学生に選ばれるまでは海外長期留学経験無し
- 2012年5月にCAE 合格 (スコア 63/100:グレードC)
- IELTS スコア8.0



(米国大学に出願時、大学が英語力の証明としてTOEFLもしくはIELTSのスコア提出を求めたため、IELTSを受験し、提出)

(IELTSのための)特別な勉強はしませんでした。実際受けてみた時に思った事ですが、**ケンブリッジ英検に非常に形式が良く似ていました。結果的にケンブリッジ英検を受けていた事がとても役立ったと思います。**

(神戸出身 M.I.さん  
現在、米国Wesleyan University 在学中)



## 受験者をペアにしてテストする対面式スピーキングテスト 例（プレリミナリー：中級）CEFRレベルB1

内容（例題）	所要時間 10～12分間
<p><b>パート1</b> 試験官は受験者にお互いを理解するための質問をする 名前、名前の綴り、「学校で英語を勉強していますか？」 「英語は好きですか？」等の質問を2名の受験者にする</p>	
<p><b>パート2</b> ある状況についてもう一人の受験者と会話する 転校する友達に送るプレゼントとしてイラストのうちどれが良いか二人で相談して選ぶ（議論して決定するプロセス）</p>	
<p><b>パート3</b> それぞれ異なる写真が与えられ、それを見て1分間相手に説明する ティーンエイジャーの寝室の写真について説明する</p>	
<p><b>パート4</b> パート3のテーマについて議論しながら、再びもう一人の受験者と意見交換 自分の寝室にあるものについて、ペアで話し合い、今後寝室に欲しいものについて説明する</p>	

Cambridgeenglishtv: [www.youtube.com/user/cambridgeenglishtv](http://www.youtube.com/user/cambridgeenglishtv)

7



## プレリミナリー(B1)のスピーキングのサンプル問題

転校する友達への  
プレゼントにどれを選ぶ？



ティーンエイジャーの寝室の写真→

8



## 2) ケンブリッジ英検とCEFR

CEFRの生みの親であるBrian North博士のインタビューより抜粋

出所: [www.cambridgeenglish.org/why-cambridge-english/international-language-standards/](http://www.cambridgeenglish.org/why-cambridge-english/international-language-standards/)

- 共通参照枠の開発者の一人であるブライアン・ノース氏は、次のように語ります:

「わたしたちは、試験とこの参照枠の関係に関して試験委員会による申し立て内容について検証し始めたところです。関係が何であるかということをよく理解しているということと、それを確かにするということは、別のことです。ケンブリッジ大学英語検定機構は、CEF (ヨーロッパ共通参照枠) のレベルとケンブリッジ英検各試験のレベルの間に関連があるため、例外とされます。」(ブライアン氏とのインタビュー、ELT News、2006年2月)

Cambridge English and the CEFR (原文より抜粋)

- Cambridge English Language Assessment was involved in the development of this standard. Brian North, one of the authors of the Framework, has said that:

“We’re really at the beginning of the process of validating the claims which are made by the examination boards about the relationship of their exams to the Framework. There is a difference between having a very good idea of what the relationship is and confirming it. **Cambridge ESOL is an exception, because there is a relationship between the levels in the CEF [Common European Framework] and the levels of the Cambridge ESOL exams.**” (Interview with Brian North in ELT News, Feb 06.)

9



## 2) 出題レベル

- 目標言語領域
  - 語彙レベル
- 資料3: ケンブリッジ英検 各レベルのTLU (目標言語領域)について

ヨーロッパ 共通参照枠 CEFR レベル	ケンブリッジ英検 各試験	語彙サイズ (イングリッシュ・ボキャ ブラリー・プロフィールの headwordsでカウント)
A1	Starters (国際児童英検スターターズ)	779
A2	KET	1,558
B1	PET	2,955
B2	FCE	4,666
C1	CAE	6,541
C2	CPE	Approx. 7,000

10





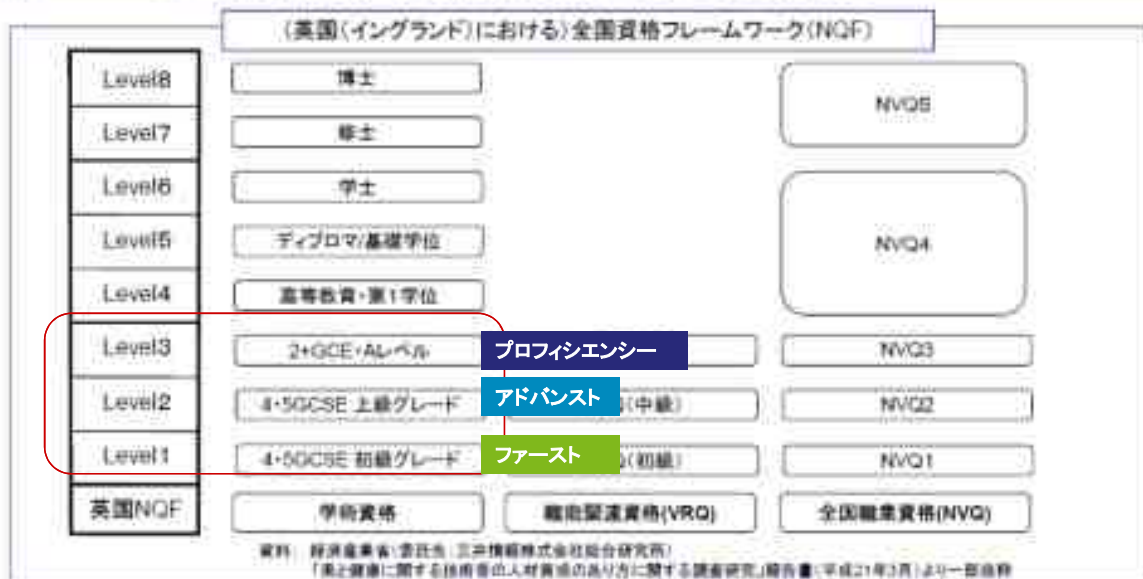
# 認定証

CEFRとの関係からファースト(B2)以上の認定証には、イングランドの全国資格フレームワーク(「英国資格指標」)のレベルも記載される



## イギリス(イングランド)における職業資格と学位等の資格枠組み(2002. 9~)

学術資格と職業資格の峻別が、社会的に負の結果をもたらしているという報告書<sup>1)</sup>が1997年に出され、これに応じて政府は新しい資格フレームワークの整備を進めてきた。イングランドでは1997年にOQAが設立され、「全国資格フレームワーク(National Qualifications Framework: NQF)」を整備(イギリスにおける地域人材の養成と認定システム) (山本豊彦(2004)より一部抜粋)  
① Report of the National Committee of Inquiry into Higher Education(July 1997)Dearing Report



文部科学省 生涯学習分科会資料より抜粋  
www.mext.go.jp/component/b\_menu/shingi/toushin/\_icsFiles/afieldfile/2010/05/25/1293956\_4\_1.pdf

NQF Level	CEFR Level	GCSE/A-Level	Example Cambridge English Award
Level 3	C2	A-Level	Cambridge English Proficiency <b>プロフィシエンシー</b>
Level 2	C1	GCSE Higher Pass Grades A*-C	Cambridge English Advanced (CAE) <b>アドバンス</b>
Level 1	B2	GCSE Grades D-G	Cambridge English First (CEFR) <b>ファースト</b>

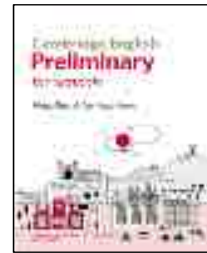


# Can Do statements

## Examples of Can Do statements at Level B1

Typical abilities	Reading and Writing	Listening and Speaking
<b>Overall general ability</b>	CAN understand routine information and articles. CAN write letters or make notes on familiar or predictable matters.	CAN understand straightforward instructions or public announcements. CAN express simple opinions on abstract/cultural matters in a limited way.
<b>Social and Leisure</b>	CAN understand factual articles in magazines and letters from friends expressing personal opinions. CAN write to his/her friends about the books, music and films that he/she likes.	CAN identify the main points of TV programmes on familiar topics. CAN talk about things such as films and music and describe his/her reactions.
<b>School and Study</b>	CAN understand most information of a factual nature in his/her school subjects. CAN write a description of an event, for example a school trip. CAN take basic notes in a lesson.	CAN understand instructions on classes and homework given by a teacher or lecturer. CAN repeat back what people say to check that he/she has understood. CAN give detailed practical instructions on how to do something he/she knows well.

- Can Doを作成したALTE(ヨーロッパ言語テスト協会)の創設メンバーとして、実際生活する上で使う英語スキルを測るための枠組みとして利用



出所: Cambridge English: Preliminary for Schools Handbook for Teachers

13



# 国際通用性: 他国との比較可能

## First language

The figures below show what percentage of candidates achieved each grade according to the candidate's first language. The top 25 languages by candidature are shown.

First language	Grade A	Grade B	Grade C	Council of Europe Level B2
Albanian	3.7%	11.0%		36.8%
Arabic	4.2%	13.3%		
Basque	1.3%	7.2%		
Bulgarian	11.4%	21.6%		
Catalan	3.2%	13		
Chinese	9.0%	15		
Croatian	20.2%	22		
Czech	11.4%	23.3%		
Dutch	17.1%	32.2%		
French	6.3%	17.6%		24.8%
German	11.0%	22.5%	24.9%	20.7%
Greek	2.1%	12.8%	39.7%	37.2%
Hungarian	13.4%	21.8%	41.9%	19.8%
Italian	7.4%	16.8%	45.3%	27.4%
Japanese	0.0%	2.9%	23.5%	56.4%
Korean	1.4%	13.5%	34.3%	56.0%
Polish	10.3%	23.0%	45.3%	19.7%
Portuguese	10.0%	20.0%	46.9%	22.6%

アドバンスト(C1)をグレードAで合格した日本人は0%。グレードB合格も全体の2.9%であることが分かる

